

# 地域ごとのまちづくり計画

(まちづくり協議会コミュニティ末広)

令和 2 年 (2020 年) 月

## 目次

【はじめに】 .....	3
【現状と課題】 .....	4
【 <sup>まち</sup> 地域の将来像】 .....	6
【基本目標】 .....	6
【具体的な取り組み】 .....	7
【あとがき】 .....	10
【資料】 .....	11

## 【はじめに】

コミュニティ末広の発足から24年を経てまちづくり計画の抜本の見直しへ

### ■コミュニティ末広の発足

まちづくり協議会コミュニティ末広の発足は、1994年（平成6年3月）です。

発足のきっかけは、宝塚市全域でまちづくり協議会を小学校校区毎に設立するという宝塚市の方針に従って設立しました。

当初は、役員を中心にした本部が何かにつけて企画・実施しましたが、コミュニティ末広の活動を知っていただくため1998年度（平成10年度）には広報部を、これまで伊和志津神社で行っていた盆踊りを中心に置いた夏まつりを行うためまつり部とお年寄りを対象とした諸行事を末広小学校の児童等とともに行う福祉健康部を2000年度（平成12年度）に立ち上げ、活動を開始しました。

### ■「コミュニティ末広 まちづくり計画 2005.10.01」の策定

コミュニティ末広では、宝塚市の指導の下に初めての末広小学校区「まちづくり計画」を関係構成団体（自治会、学校・幼稚園・保育所関係団体、老人クラブ、スポーツ21、PTA、行政関係者等）の協力を得て、約2年間の調査・検討・審議を経て、2005年（平成17年10月）に計画決定いたしました。

「コミュニティ末広 まちづくり計画 2005.10.01」では、わがまちの特徴をつぎの通りとらえて、計画目標を設定しています。

わたしたちのまち末広は、「コンパクトで便利・住みやすいまち」です。もう一つのまちの魅力が“みんなが仲良し”“このまちが好き”と言うことです。このようなまちの特徴を踏まえて、コミュニティ末広のまちづくりスローガンは、

「出会い・ふれあい・みんなで楽しいまちづくり」としました。

### ■コミュニティ末広 まちづくり計画の抜本の見直しへ

2017年は、「コミュニティ末広 まちづくり計画 2005.10.01」を作成してから12年が経過しました。その間、社会経済環境は大きく変化し、少子高齢化、人口減少、過疎化、生活困窮者対応等の現象が顕著に表れています。

このため、宝塚市は、2017年度から2019年度にかけ、「地域ごとのまちづくり計画の抜本の見直し」を行うことを決定されました。

また、その見直した計画は、2021年を初年度とする宝塚市第6次総合計画の地域計画として位置づけられます。

われわれコミュニティ末広としては、2017年11月に「まちづくり計画委員会」を発足させ、自治会を中核とするコミュニティ関係構成団体、民間事業者、行政関係機関等のご協力をいただき「まちづくり計画の抜本の見直し」を行って参りました。

その成果が次章からの記述です。

## 【現状と課題】

現状と課題については、地域カルテでまとまっている人口や世帯数等について把握した上で、自治会、各種団体に協力いただき、地域の良い所と困っている所、こうなったら良いと思うことなどをアンケートで伺いました。その結果を「まちづくり委員会」の中で共有した上で、30代～40代の方々を中心としたワークショップを実施し、「まちのこれから」について意見交換を行いました。また、逆瀬川駅周辺を含め様々な事業所が立地することから、事業所宛にもアンケートを実施し連携の可能性について調査しました。

### ① 人口

コミュニティ末広の人口は、2014年は6,336名、2019年には6,379名とほぼ横ばい、世帯数については、2,809世帯から2,917世帯と100世帯以上増加しています。一方で高齢者の推移を見ると65歳以上の人口は1529名から1710名と181人増加、一人暮らしの世帯も453世帯から534世帯と81世帯増加となっており、世帯数の増加はあるものの、一人暮らしの高齢者世帯の割合が高くなりつつあるのが現状です。また、子どもも多少の増減はありますが、ほぼ横ばい。(末広小は各学年2～3クラス) 高齢者は増加傾向にありますが、市内の平均とほぼ同等です。年少人口は市の平均より若干多い程度です。(出典：地域カルテ 2019年10月版)

### ② 周辺環境

コミュニティ末広は、南部市街地のほぼ中央、武庫川及び逆瀬川の右岸に位置し、地域内には阪急今津線逆瀬川駅および駅前の商業施設、公園、市役所などの公共施設もそろっていて、子育てしやすい環境です。地域内は平坦な部分が多いのですが、武庫川及び逆瀬川沿い川部は堤となっているため、急勾配で土地が高くなっています。

### ③ 防災

武庫川沿いに位置するほか、地域内を水路が走っているために、水害時の対応が求められています。地域の指定避難所である末広小学校は、水害時は避難所として指定されていません。そのため、地域内のマンション4箇所と一時避難に関する協定を結び対応策を取っていますが、今後も協定先の追加と継続が必要です。防災については、総合防災対策事業委員会で検討して、総合防災訓練を年1回開催していますが、参加者が固定化している状況もあるため、若い世代への啓発が課題となっています。また、地区防災計画の作成に向けての協議もすすめています。

### ④ 防犯

地域には、末広公園など広い公園や河川敷、幹線道路や住宅街の路地などについて街灯が少なく不安があるという声が多くあります。PTA、各自治会で地域の見回りパトロールなどを行なっているものの、各団体同士の不審者情報の共有などが課題となっています。また、廃品回収の資源を契約業者以外が回収しているなどの情報も寄せられています。地域内の防犯カメラは宝塚市が10台、自治会で6台の計16台を設置しています。

### ⑤ 交通安全

通学路となっている道路での歩道幅が狭い、地域内を流れる水路でも危険な箇所があるなど、具体的に課題とされている箇所が数カ所存在しています。また、自転車マナーや、高齢者の自動車運転などについても対策が必要です。ほかにも、市役所前通りや市役所前交差点付近で土日など交通渋滞が発生し、横道からの進入がしづらい状況もあります。

## ⑥ 福祉

サロン活動をはじめ、高齢者が集う機会を設けてはいますが、徐々に高齢化が進む中で、地域内のちょっとした困りごとを解決できるような仕組みが求められています。また、地域内に高齢者の支援施設や障害者支援の施設など福祉関連施設との情報交換や連携が課題となっています。

## ⑦ 子育て

未就学児の子育てをしている世代の集う場は継続的に維持されています。一方で児童館のような、小中学生たちが室内で自由に遊べ、自習ができるような施設が不足しているという声もあります。

## ⑧ 環境美化

地域内の公園の清掃活動などは、自治会が中心で実施していますが、参加者が少ない状況が続いています。また、地域内の街路樹や植栽について、草花の配置が明確でなかったり、枝葉が伸びすぎると見通しが悪くなる箇所があります。駅周辺では、アピア1や参鐘館前の自転車放置が課題となっています。

## ⑨ コミュニティの活動・担い手

まつりやイベントごとについては地域での認知があるものの、防災などの活動についての認知が低い状況となっています。情報発信と情報共有が課題となっています。また、高齢化とともに活動の担い手不足も課題となっています。

## ⑩ 活動の場

これまで高齢者や子育て世代が気軽に集まることができた施設「よりあいひろば」が閉鎖となったため、気軽に集まることができるよう場が求められています。防災の視点からも地域内の共同利用施設「伊子志会館」の改修や逆瀬川駅周辺で気軽に集える場が求められています。

## ⑪ 賑わい交流

「コミュニティ末広夏まつり」「アピアビアガーデン」など世代間交流の催しを定期的に行っています。こうした催しが継続されていることもあり、地域の事業所アンケート結果では、67.2%が地域と連携したい・すべきと考えています。若い世代や地域との連携に積極的な事業者との気軽な関わりを持つことができる体制が必要です。

## 【<sup>まち</sup>地域の将来像】

末広小学校区は、逆瀬川駅から宝塚市役所に至る小さいエリアの中に静かで落ち着いた住宅地が広がっており、市役所・公民館など市の中心機能が集積しているほか、生活に便利な施設が立地する「コンパクトで便利・住みやすいまち」です。

まちのシンボル・地域の憩いの場として末広中央公園があり、自治会や各団体等が連携して風通しよく無理なく活動され、子育て世代からお年寄りまで多世代が楽しく暮らしやすい環境です。

今後も地域に暮らす人だけでなく、地域の事業所や学校等とのつながりから、互いに支え合い、協働して取り組みを進めてくことで、安心して、こころ豊かに暮らせるまちを目指します。

## 「つながり・支えあう、みんなで楽しく暮らせるまちづくり」

### 【基本目標】

1. 安心・安全なまちづくり
  - ・ 日頃からのつながり・備えの充実
  - ・ ひとりひとりの見守りで支える安全なまち
  - ・ 安全な生活環境の整備
2. 出会い・ふれあう・集いの場づくり
  - ・ 思いやり、支えあいのネットワークづくり
  - ・ 各世代が集える憩いの場づくり
3. 賑わい・交流のまちづくり
  - ・ 地域でスクラム 元気がでる賑わいづくり
  - ・ 誰もが参加しやすい環境づくり
  - ・
4. 快適な環境づくり
  - ・ 思いやりの心でつくる快適な公園
  - ・ 美しいまちづくり

【具体的な取り組み】

基本目標	具体的な取り組み	継続	新規	スケジュール（西暦）					役割分担（協働の領域）				備考	
				20年	第6次総計				① 市民	② 主に 市民	③ 市民と 行政	④ 主に 行政		
					21年	22年	23年	24年						25年
(1) 安心・安全なまちづくり	1. 日頃からのつながり・備えの充実													
	1	総合防災対策事業委員会の開催	○		→							○		総合防災部
	2	地区防災計画の作成	○		→					○			総合防災部	
	3	総合防災訓練の実施	○		→						○		総合防災部	
	4	避難所運営マニュアルの作成	○		→					○			総合防災部	
	5	水害時の一時避難協定を締結するマンションの追加	○		→				○				総合防災部	
	6	災害時における事業所との連携検討		○	→					○			総合防災部	
	7	若い世代への防災の啓発		○	→				○				総合防災部	
	2. ひとりひとりの見守りで支える安全なまち													
	1	個々の団体による見守り活動の継続と、自治会・事業者・PTA等での連携		○	→						○			第一部会
	3	あいさつ運動の展開		○	→						○			第一部会
	4	アトム110番の啓発	○		→							○		第一部会
	5	わんわんパトロール、お散歩パトロールの検討		○	→							○		第一部会
	6	廃品回収持ち帰りの対策		○	→							○		第一部会
	3. 安全な生活環境の整備													
1	地域内の危険箇所について確認を行い、コミュニティと市で改善策を協議する場を設ける	○		→							○		第一部会	

基本目標	具体的な取り組み	継続	新規	スケジュール（西暦）					役割分担（協働の領域）				備考	
				20年	第6次総計				① 市民	② 主に 市民	③ 市民と 行政	④ 主に 行政		
					21年	22年	23年	24年						25年
(2) 出会い・ふれあう・集いの場づくり	1. 思いやり、支えあいのネットワークづくり													
	1	ネットワーク会議による地域課題の共有	○		→						○			第一部会、福祉健康部
	2	地域の福祉事業所との情報交換会の実施（自治会単位で困りごとの共有）		○	→						○		第一部会、福祉健康部	
	3	見守り活動での事業所との連携		○	→						○		第一部会、福祉健康部	
	4	ちょっとボランティアの仕組みづくりの検討		○	→						○		第一部会、福祉健康部	
	2. 各世代が集える憩いの場づくり													
	1	サロン活動の支援	○		→					○			福祉健康部	
	2	健康増進のための取り組みを実施	○		→						○		福祉健康部	
	3	映画会など多世代が集う機会を実施	○		→						○		福祉健康部	
	4	小学校・保育園との交流行事の実施	○		→						○		福祉健康部	
	5	ふれあいよちよち広場の開催	○		→						○		子育て支援部	
	6	子育て支援活動の拡充		○	→						○		子育て支援部	
	7	放課後子ども教室（すえひろば）での大学生との連携	○		→						○		本部	
	8	地域内の自習スペースについて検討		○	→						○		本部	



基本目標	具体的な取り組み	継続	新規	スケジュール（西暦）					役割分担（協働の領域）				備考	
				20年	第6次総計					① 市民	② 主に 市民	③ 市民と 行政		④ 主に 行政
					21年	22年	23年	24年	25年					
(3) 賑わい・交流 のまちづくり	1. 地域でスクラム 元気がでる賑わいづくり													
	1	コミュニティ末広夏まつりの実施	○		→					○				まつり部
	2	ふれあいピアガーデンの実施	○		→					○				第二部会
	3	世代間交流イベントの開催を検討	○		→					○				第二部会
	4	若い世代を中心とした企画の検討 (地域運動会、星空映画館、花火大会など)		○	→					○				第二部会
	2. 誰もが参加しやすい環境づくり													
	1	地域と事業所の定期的な情報交換を行う。		○	→					○				本部
	2	コミュニティスクールに協力し、子どもたちの教育環境の改善や地域との関わりについて検討		○	→							○		本部他
	3	事業所の空きスペースや空き家を活用した地域の集いの場の検討		○	→							○		本部
	4	伊子志会館の改修・新たな活用の検討		○	→							○		本部
	5	コミュニティの掲示板の設置を検討		○	→						○			本部
	6	高校生や大学生の地域活動への参加促進		○	→							○		本部
	7	広報における事業所との連携（チラシ配布、掲示等）		○	→						○			広報部
	8	コミュニティについて周知を広げ		○	→						○			広報部

基本目標	具体的な取り組み	継続	新規	スケジュール（西暦）					役割分担（協働の領域）				備考	
				20年	第6次総計				① 市民	② 主に 市民	③ 市民と 行政	④ 主に 行政		
					21年	22年	23年	24年						25年
	る冊子の作成													
	9 広報部のウェブサイト充実させる		○	→					○				広報部	
	10 高齢者向けスマートフォン活用講座の開催		○	→	→	→	→	→	○				広報部	
	11 子育て世代向けの情報共有の仕組みづくり（SNS等の活用）		○	→	→	→	→	→	○				広報部	
(4) 快適な環境づくり	1. 思いやりの心でつくる快適な公園													
	1	せせらぎ広場の定期清掃参加者の促進（小学生等の連携など）	○		→	→	→	→	→		○			第二部会（こども会）
	2	せせらぎ広場のプランターを管理する	○		→	→	→	→	→		○			第二部会（こども会）
	2. 美しいまちづくり													
	1	街路樹や植栽の剪定に関する定期的な意見交換の実施		○	→	→	→	→	→			○		本部 2年に1回程度で実施
	2	駅前街路樹の野鳥のフン対策を検討する		○	→	→	→	→	→				○	本部
	3	小中学校と連携して啓発ポスターの作成を検討する		○	→	→	→	→	→		○			本部

### 【あしがき】

謝辞・計画づくりに携わった方（委員氏名）アンケート対象者など

## 【資料】

1. コミュニティ末広の経緯
2. 地域アンケートまとめ
3. 若手ワークショップ実施のまとめ
4. 事業所アンケートまとめ
5. 宝塚市への個別要望事項と現状の回答